

平成19年度

第3回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成20年2月7日(木) 13:31~15:24
- 2 場 所 岡山市職員研修所2階会議室
- 3 出席者 委員11名
- 4 傍聴者 報道2社
- 5 議 題 岡山市障害者プラン(案)について
養護老人ホーム玉松園の現状の報告
- 6 主要な意見

岡山市障害者プラン(案)について

- ・ 数値目標で、生活環境の整備は目標に挙げられるようなものはないか。
- ・ 一般の方にも広く周知していただくため、もう少しわかりやすい言葉の使用もご検討いただきたい。
- ・ 障害者の「害」の字は、最近では平仮名での表記も増えている。全国的な風潮でもそうってきているので、検討していただきたい。
- ・ 多くの障がい者、障がい者に理解のある人からはいろいろな場で「害」の平仮名表記について言われている。法律用語の部分はやむを得ないが、その他のところは平仮名表記にするように、部会として強く要望したい。
- ・ 障害者プランは各市町村で個別のつくられることが義務づけられていると伺った。岡山型福祉の構築とあるが、岡山の特色というものを。
- ・ 岡山市らしい何か特徴をだした計画にしてほしい。
- ・ 読んだ人が身近に感じられるようなネーミングや表現を使えば、岡山らしいと思えるのではないか。
- ・ 障がい者の就労後のフォローの体制は用意されているか。
- ・ 防災、防犯対策の推進の、ボランティアの育成確保の項目について、災害ボランティアの中から手話通訳者を集めていくのか、それとも手話通訳者から災害時にも活躍できる人を集めていくのか。また、どちらの場合にも研修が必要と思われる。
- ・ 在宅で、軽度な障害の人が、災害時に置いて行かれやすいと思う。そのような方がどうすれば良いのか教えていただきたい。
- ・ プランが読みやすくなるように、ヘッダーや脚注をつけていただきたい。

養護老人ホーム玉松園の現状の報告

- ・ 民設民営と答申が出ている施設がすでにあり、また仮に今回もそのような方向性が出た場合、民間で手を挙げるところはありそうなのか。
- ・ どういう方向性で行ってほしいか、案を示していただきたい。